御園だより

令和7年度5月号
大田区立御園中学校
校長　古川 大輔

御園中の「顔」としての修学旅行

３年生は５月１３日(火)から１５日(木)までの３日間、奈良と京都へ修学旅行に出かけました。旅行期間中は27℃前後の暑さとなりましたが、五月晴れの天候に恵まれました。全員が集合時間より早く東京駅に集まり、予定通りに皆で修学旅行の出発式を行うことができました。

また、東京都公立中学校の修学旅行連合体輸送列車第一便出発式が東京駅ホームで行われました[*1]。式では生徒代表がJR東海代表の方に花束を贈呈しました。東京駅長からは「一生の思い出をたくさん作ってきてください」との温かいお言葉と記念品をいただきました。

１日目は、新大阪駅からバスで移動し、法隆寺と東大寺の見学、そして奈良公園を班行動しました。日本で最初の世界文化遺産である法隆寺では、世界最古の木造建築物として知られる西院伽藍や国宝の百済観音像、大宝蔵院に展示された玉虫厨子などを見学し、歴史の重みに触れました。東大寺では、大仏として親しまれる盧舎那仏（るしゃなぶつ）の意味について、ガイドさんから「知慧と慈悲の光明を遍く照らし出される存在」と教えていただきました。国の天然記念物に指定されている奈良公園の鹿と一緒に写真を撮りました。宿舎の金波楼さんでは、夕食にすき焼きなどを美味しくいただきました。

２日目は、班の計画に沿って公共交通機関を乗り継ぎ、京都の見学場所を巡りました。二条城では、15代将軍慶喜が大政奉還の意思を表明した二の丸御殿、二の丸庭園、唐門などを見学し、清水寺では、本堂、清水の舞台、音羽の滝などを巡りました。夕陽に映える仁王門を背景に皆で撮った集合写真、梅山堂での京料理の夕食、森陶器館での陶器の絵付け体験など、皆で過ごした忘れることのない楽しい時間となりました。

３日目の最終日は、金閣寺、銀閣寺、伏見稲荷大社、北野天満宮、平等院鳳凰堂、嵐山など、人気の観光名所をじっくりと散策しました。添乗員さんからは「京都のインバウンド観光客は十数年で数十倍に増えた」とのお話もあり、世界中の人々が日本の伝統文化に憧れや敬意を抱いていることを実感し、誇りを感じる貴重な機会になりました。国内はもちろん多くの外国人観光客が訪れる奈良、京都の地で、３年生が皆で積み重ねてきた経験を生かすことができた心に残る修学旅行になりました。ぜひ、旅先での体験や感じたことを、御園際などで２年生、１年生の下級生にも伝えてほしいと思います。学びをより深く、さらに意味のあるものにしてくれると思います。

この３日間、３年生は集団行動の中で公共の場でのマナーや周囲への思いやりを発揮してくれました。解散式では、「皆で行動できたのは、自分の健康を心掛けるとともにまわりの人の健康状態も気遣ってくれたからです。充実した修学旅行になったのは、皆で感動や実体験を共有できたからです。ご家族には、奈良、京都での土産話をして感謝の気持ちを言葉と態度で伝えてください。かかわってくださった方々には、これからの行動で御礼の気持ちを表してください」とお話しました。ご家庭でも旅先での出来事や学びについてお子様と会話を交わしていただけたら幸いです。

３年生としての礼儀正しさ、御園中生らしい挨拶や態度、「本物」に触れ、意欲的に学ぼうとする姿にどの場所でも賞賛の言葉をいただきました。３年生にとって、歴代の御園中生が奈良・京都の地において築いてきた御園中の「顔」としての役割を十分に果たし、人として大きく成長する機会となった一刻千金の修学旅行でした。

本校ホームページ「Misono Diary」に生徒の活躍、活動の様子の写真を掲載しております。右上のQRコードよりご覧いただけます。また、X公式アカウント「御園中 日々の出来事」を随時更新しております。

（*1）2025年5月13日トラベルボイス観光産業ニュース・16日教育家庭新聞Webで紹介しています。